



広報

中部の森林



中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/>



記者発表の様子

「美しい森林づくり」を目指して

平成21年度中部森林管理局事業概要を公表

(P2~3に関連記事)

主 な 項 目	○ 平成21年度中部森林管理局事業概要を公表	P2~3
	○ ボランティア活動	P4~5
	○ シリーズ現場最前線	P8

平成二十一年度 中部森林管理局事業概要を公表 「美しい森林づくり」を目指して

四月二十四日、平成二十一年度中部森林管理局の事業概要について、記者発表を行い公表しました。

事業概要の要旨

中部森林管理局は、公益的機能の維持増進を旨として、平成二十年十二月に策定された全国の計画である新たな「国有林野の管理経営に関する基本計画」を踏まえ、開かれた「国民の森林」としての国有林野の管理経営を推進しているところです。

平成二十一年度については、特に、「美しい森林づくり」に向けて民有林施策との一層の連携を図りつつ、地球温暖化防止や生物多様性の保全をはじめとする国民のニーズに応えた多様で活力ある森林の整備や木材の安定供給等に率先して取り組むべく、具体的には以下の項目などを中心に事業を実施していきます。

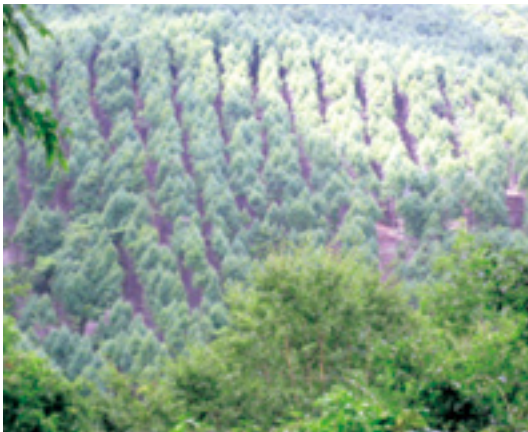
一 公益的機能の発揮に向けた取組

管内の国有林野は、日本アルプスを中心とした脊梁山脈や重要な水源地に広く分布していることから、安全・安心な国土管理の要として、国土保全・

水源かん養等に果たす役割、国有林野に対する国民の期待等を踏まえ、機能類型に応じた管理経営を推進する中で、次の三項目を重点取組事項として掲げ、森林の公益的機能の維持増進、地球温暖化防止対策や生物多様性の保全に取り組みます。

(一) 地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策の推進

国際的な約束である京都議定書の目標達成に向け、当年度は約八千鈔の間伐を実施するなど引き続き森林整備を推進します。(前年度比百十六%)



間伐の推進 (南信署・列状間伐実施箇所)

(二) 安全・安心な社会の実現に向けた治山事業の取組

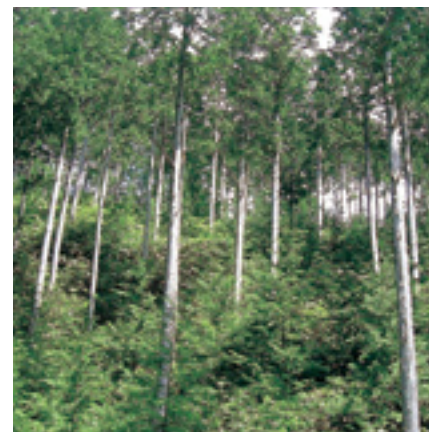
管内の国有林の多くが急峻な山岳地形であること、日本列島を大きく分ける二つの構造線が通るなど山地災害の危険性が高い地域であることや、台風、集中豪雨等による激甚な災害が近年多発していることを踏まえ、安全・安心な社会の実現に向け、大規模災害時の山地災害対策への支援体制の強化を含む民有林との連携を図りつつ、計画的かつ効果的な治山対策を展開します。



豪雨災害箇所の復旧対策の実施 (南信署)

(三) 生物多様性の保全

生物多様性の保全に資するため、間伐や複層林化など地域の森林の現況に基づき多様で健全な森林の整備を推進するとともに、奥地国有林における野生鳥獣の生息環境の改善や人里との緩衝帯の設置、モニタリング等による個体数管理、



ヒノキ複層林 (岐阜署)

二 国有林野の維持及び保存

貴重な森林生態系等を国民共通の財産として適切に維持・保存するため、次の項目を重点取組事項として掲げ、保護林など優れた自然環境を有する森林の維持・保存、高山植物保護活動などの取組を推進します。

○保護林等の適切な保護管理の推進

原始的な天然生林や貴重な野生動植物が生息・生育する森林については、厳格



外来植物除去作業の実施 (富山署)

な保全・管理を行う保護林や野生生物の移動経路となる緑の回廊等に設定することに加え、モニタリング調査や希少野生動物の保護管理事業等を通じた適切な保護管理等を推進します。

三 林産物の供給

間伐等の推進を通じて生産される木材や管内の特産樹種である「木曾ヒノキ」をはじめとする高品質材について、それぞれの樹材種の特性及び需要動向等に応じて計画的に生産・販売するとともに、民有林関係者との一層の連携により木材の安定供給や利用の促進等に向け次の項目を重点取組事項として掲げ取り組みます。

○低コスト・高効率作業システムの普及・定着の推進

各署等の素材生産請負事業地において、現地に適合した作業システムを導入。今年度は取組を十署等二十一箇所に拡大するとともに、民有林と連携しながら低コスト・高効率作業システムの普及・定着を推進します。



低コスト・高効率作業システムの
実施（飛騨署）

四 国民の森林としての取組

森林とのふれあい、国民参加の森林づくりや森林環境教育の推進等森林に対する国民の多様な要望を踏まえ、開かれた「国民の森林」の実現に向けて、次の項目を重点取組事項として掲げ取組を展開します。

○国民の森林としての取り組みの推進

国有林のフィールドを活用した様々な森林イベントの開催や森林環境教育、民有林関係者との連携強化に向けた取組を推進します。



森林環境教育の推進（岐阜署）

五 地域振興への寄与

地元産業の振興等に資する国有林野の貸付けや売払い、分収林制度の活用、森林空間の総合利用等を通じて地域振興への寄与に努めるとともに、林業事業者の育成強化等により雇用対策に努めます。

なお、平成二十一年度中部森林管理局事業概要については、HPに掲載しております。

りますので、詳細についてはそちらをご覧ください。

URL

<http://www.rinyamafu.go.jp/chubu/>

事業概要↓局の仕事↓事業の概要↓
平成二十一年度事業概要をクリックして下さい。

**長野林政協議会
「街頭PR活動」等の
実施について**

「企画調整室」今年度の長野林政協議会活動の新たな取組として、長野県とともに街頭PR活動を実施するとともにパネル展を開催しています。

街頭PR活動は、国が定めるみどりの月間及び長野県が定める緑化推進特別強調月間に合わせ、四月二十八日に植樹祭等の森林とみどりに親しむイベント情報のリーフレットを広く情報発信するため、街頭で直接配布しました。リーフレットには、長野県及び中部森林管理局

で今年度四月から十月に予定されている長野県内での植樹祭や森林体験教室などのイベント情報を記載しましたが、より国民の皆様に関心を高めていただくため、あわせて県内の森林風景を印刷したクリアファイルセットにするなど工夫して配布しました。十七時より長野駅前にて開始し、帰宅途中の会社員、学生、

買い物帰りの主婦の方々など幅広い年齢層や職種等を問わず、たくさんの方々へ配布することができ、予定の千部を約一時間で受け取っていただくことができました。

また、四月二十五日から五月三十一日の間、駅ビルMIDORIにおいて「森林とみどりに親しむパネル展」を行っています。これは、ビル名にちなんで森林に関係する内容を主とした展示スペースの活用依頼が長野県に寄せられたことから、長野県と中部森林管理局とが連携して開催したものです。MIDORI五階の特設会場に森林の役割等を紹介したパネル展示、自然休養林、森林セラピー基地のパネル展示やポスターによる紹介などを行っています。同会場は飲食店が近いことから、休日の食事時などに賑わいを見せています。善光寺御開帳見学の帰りにでも是非ご覧になっていただければと思います。

今回の取組は、民有林・国有林が一体となつて取り組む林政推進の一環として、国民の皆様の森林への関心をより高めていただくために行つたものです。はじめての取組でしたが、街頭でのリーフレット配布や駅ビルでのパネル展示を通じて、森林・林業に対する理解・関心が高まることを期待しています。

今後、各種イベントで来場者への聞き取りによるPR効果の確認等を実施することとしています。



パネル展示場の様子

今後も、地球温暖化防止対策としての間伐の推進等多様で活力ある森林の整備など、民有林と国有林の取組や連携について沢山の方々に関心を持っていただけるよう、長野県と協力しつつ、積極的に活動していくこととしています。



チップパーシュレッダーを併用した竹の除去活動（防風保安林）

〔富山署〕富山市稲代の大沢野国有林において、四月十八日、地域の里山再生に取り組んでいる「きんたろう倶楽部」の会員と一般参加者三十九名、また、五月

十四日、名古屋CF隊員九名により、二回に分けスギ造林地に侵入してきたモウソウチクの伐採とチップパーによる林内整理を行いました。

当国有林は、強風から家屋や田畑を守るため、かつてはアカマツ主体の森林でしたが、マツクイ虫の被害により特に被害が大きかった箇所についてスギを植樹し防風保安林としての機能を維持することとしています。しかし、周辺の竹林からモウソウチクが侵入し、スギ林の生長を妨げるようになったため、毎年継続して竹の除去作業を行っています。三年前まではチップパーによる竹の粉碎作業を行っていなかったため、林内には伐採された古い竹が山のように堆積された状態になっていましたが、きんたろう倶楽部と協働で実施するようになった十九年からは林内にチップパーを設置して粉碎処理を実施したため、足の踏み場もないほど堆積していた古い竹をかなり処理することができました。しかし、作業地下方についてはチップパーを下ろすことが出来ないため竹の処理ができていませんでした。

このため、きんたろう倶楽部事務局と現地地下見をする中で、事前に歩道を新設することにしました。歩道新設の方法は、側面になる箇所については伐採した竹を縦に置き、後はチップパーから粉碎して出てくるチップを敷きながら作設していく方法を採用したことから、低コスト



チップパーシュレッダーによる竹粉碎作業

で歩道を完成することができました。

歩道ができたことにより、今までチップパーまでの運び出しができなかった箇所についても処理することができたため、林内は見違えるほど整理されました。今後は、伐採した竹は全てチップパー処理でき、天然発生したスギの稚樹も含めてスギの生長がかなり期待できるのではないかと考えています。

戸隠森林植物園でボランティア長野林業土木協会北信支部

〔北信署〕四月二十一日、長野林業土木協会北信支部会員二十七名が、戸隠森林植物園でボランティア活動を行いました。

た。

同会は、林業土木事業を営む者が会員で、技術の研鑽、災害防止等を目的に設立されています。今回で四度目となる活動は、同支部の社会貢献活動の一環として行われているものです。

戸隠森林植物園に設置されているバリアフリー歩道の支柱に、転落防止と進入防止用のグリーンロープを約二キロメートル張る作業と、足場のスリップ防止と木道の腐朽を防止するため、デッキブラシで歩道の苔落とし清掃作業を実施しました。

半日をかけ整備された歩道は、残雪の中で明るく美しくなり、二十五日の開園とともにミズバショウや野鳥観察に訪れる多くの来園者の方に、安全で安心して使用していただけるようになりました。



美しくなる歩道



まず受け口をつくります

また。午後の木曾ヒノキ天然林の見学では、学生約十名を一班として職員が引率し、およそ五・五キロメートルのコースを約三時間かけて歩く中で、国有林の役割や木曾の森林の歴史、植生、木材の利用等について学習しました。学生達は普段の訓練では体験できない、森林づくりや木材について理解を深めることができ、技術習得の参考となりました。

なお、当体験間伐区域では、今後も子ども達や一般の方々を対象とした体験間伐プログラムが予定されています。ふれあいセンターと連携し、職員同士で間伐指導方法の学習会を開催するなどして、一層の指導内容の向上を図り、受け入れ態勢を整えています。

定光寺自然休養林で「みどりのフェスティバル'09」盛況に開催

定光寺自然休養林で新緑を満喫していただくために、名古屋事務所、愛知森林管理事務所、瀬戸市まるつとミュージアム・観光協会主催による「みどりのフェスティバル'09」を、瀬戸国有林の森林交流館周辺において開催しました。

当日は、快晴の絶好のイベント日和となったことから、前年度に比し概ね倍の方が来場されました。午前十時の開場前から、竹炭プレゼントの本部受付前には、長蛇の列ができました。

会場には、丸太切り、ネイチャークラフト、巣箱づくり、火おこしの体験コーナー。森林教室、森林のクイズの学習コーナー。また、今回は新たに環境省中部地方環境事務所、NPO法人藤前干潟を守る会、NPO法人穂の国森づくりの会が加わり、数多くの協賛団体等による出展で会場は今まで以上に盛り上がりました。特にヨシを編んでコースターづくりや木笛づくり、こま犬絵付け体験に多くの人が集まり、終日どのコーナーも大賑わいとなりました。アトラクションでは、モリゾー・キッコロが森林から登場し、子供たちと写真撮影によるプリントの無料提供や、チェンソーによる彫刻チェンソーパフォーマンズがありました。また犬山市のオカリナ同好会「ポッ



火おこしの体験をして

ポス」と「ザ・グース」による演奏、国産間伐材で作られた楽器「ミンミン」の演奏が開かれ、さわやかな風の中、来場者と一体になった森林の音楽会になりました。

ちなみに平成二十二年に名古屋市で生物多様性条約第十回締結国会議（COP10）が開催されることから、世界各国から多くの人が訪れます。今回の「みどりのフェスティバル'09」は、このCOP10開催を盛り上げるためにCOP10パートナーシップ事業としての位置づけもしています。

今後とも、地域の皆さんに気軽に自然と触れあつて頂く場を提供していきたいと思えます。

「第30回全国豊かな海作り大会」に向けて「馬瀬・溪流魚付き保全林連絡調整会議」

「岐阜署」平成二十一年度第一回「魚付き保全林連絡調整会議」が四月二十三日下呂市の馬瀬振興事務所において開催さ

れ、国・県・市等の平成二十一年度の事業予定を報告し、意見交換を行いました。平成十五年六月に、岐阜森林管理署と下呂市（当時馬瀬村）とで「馬瀬川溪流魚付き保全林の指定に関する覚書」が調印され、その後、各機関・団体が「魚付き保全林連絡調整会議」に参画して溪流魚の棲みややすい環境（森林環境）を作る取組を進めています。

また、平成二十二年には、「水との共生」をキーワードに「全国豊かな海作り大会」が海のない岐阜県で初めて開催されます。下呂市馬瀬地区もサテライト会場に参加するため、「馬瀬・溪流魚付き保全林連絡調整会議」として、豊かな海に繋がる河川、河川の源である森林環境を整備している状況をPRし、豊かな海を作り出すには、豊かな森林を作り出すことが必要だと全国に発信していくことを取り決めました。



調整会議の様子

白馬岳で山火事発生

【中信署】五月九日午後一時三〇分頃、北アルプス北部白馬岳へ向かう白馬大雪溪上部、小雪溪の北側斜面（白馬山国有林六二五イ林小班）において、約一畝を消失する山火事が発生し、同日十五時頃自然鎮火しました。

現地は、標高二、五〇〇メートル以上の高山帯で、残雪の間にあつた乾燥している草本やハイマツ等が相当規模にわたり消失するという極めて希なケースです。当該地は、ライチョウの生息地や高山植物が咲き乱れる全国的に著名なお花畑に近く、高山蝶等もみられるほか、多数の登山客が利用する登山道の脇に位置しています。

出火原因については、関係機関と合同で調査中ですが、火の気のない場所であり、近くを登山道が通っているこ



山火事の箇所

とや春山スキー愛好者が多く利用しているなどから、失火の可能性も疑われています。

中信森林管理署で、今後の防止策の検討及び被災状況の把握のため、地元白馬村で開催された「白馬岳小雪溪上部山林火災連絡会議」に参加し、白馬村や山小屋関係者等と連携して登山者、スキー愛好者等への注意喚起を行うとともに消失した植生回復や、他の動植物への影響等が懸念されるため、専門家による調査を行うとともに、調査結果に基づき対策や被災箇所のモニタリング等に関係機関と連携して実施していくこととしています。



消失したハイマツ等

平成21年度 名古屋シティ・フォレスター事業計画書（美しい森林づくり応援隊）

回	事業名（実施機関）	実施年月日	実施場所（市町村・国有林名）	募集人員（備考）
1	多くの人が親しみ学べる樹木見本林づくり（名古屋事務所）	4月18日（土）	愛知県瀬戸市 瀬戸国有林	50名
2	竹を除去し防風林を強くしよう（富山森林管理署）	5月14日（木）	富山県富山市 大沢野国有林	10名
3	散策して気持ちの良い里山「定光寺自然休養林」の整備をしよう（名古屋事務所）	5月16日（土）	愛知県瀬戸市 瀬戸国有林	50名
4	歩道整備で赤沢美林を守ろう①「木質チップ舗装」（木曽森林管理署）	5月22日（金）	長野県木曽郡上松町 小川入国有林（赤沢自然休養林内）	30名
5	黄金の華咲く金華山の森林土壌を回復しよう（岐阜森林管理署）	5月28日（木）	岐阜県岐阜市 金華山国有林	20名
6	歩道整備で赤沢美林を守ろう②「木質チップ舗装」（木曽森林管理署）	6月19日（金）	長野県木曽郡上松町 小川入国有林（赤沢自然休養林内）	30名
7	下刈り作業で優良なヒノキを育てよう（東濃森林管理署）	6月25日（木）	岐阜県恵那市 上村恵那国有林	15名
8	水源地の広葉樹を育てよう（富山森林管理署）	7月8日（水）	富山県南砺市 西赤尾国有林	10名
9	巨樹巨木「赤沼田天保林」の遊歩道を整備しよう（岐阜森林管理署・森林技術センター）	7月17日（金）	岐阜県下呂市 赤沼田国有林	20名
10	南木曽伝統工芸の森およびヒノキ長伐期育成複層林施業モデル林を整備しよう（木曽森林管理署南木曽支署）	7月30日（木）	長野県木曽郡南木曽町 南蘭国有林	20名
11	ダム工事跡地に森林を再生しよう（木曽森林管理署）	9月18日（金）	長野県木曽郡木祖村 小木曽国有林	20名
12	混み合った小径木を伐採し、自然休養林を整備しよう（飛騨森林管理署）	10月3日（土）	岐阜県高山市 胡桃島国有林	20名
13	実のなる木を植え、多様な生物を育む森林をつくろう（名古屋事務所）	10月17日（土）	愛知県犬山市 八曾国有林	40名
14	丸根山周辺の刈払いで里山の広葉樹林を育てよう（名古屋事務所）	10月31日（土）	愛知県瀬戸市 瀬戸国有林	50名
15	枝落しをして林内に光を入れよう（愛知森林管理事務所）	11月5日（木）	愛知県豊橋市 豊橋国有林	15名
16	林内に光を取り込み元気な林に育てよう（名古屋事務所）	11月18日（水）	愛知県犬山市 八曾国有林	15名

シリーズ
現場目取之前線

チームワークで無災害を続けて

「木曾署木曾福島森林事務所班」当班の所属する木曾福島森林事務所は、木曾谷のほぼ中心地に位置する木曾町福島にあります。国有林面積は約四千畝、官行造林約四〇畝を抱えており、事務所裏山の標高八〇〇mの城山国有林から、木曾駒ヶ岳の標高二、九五六mまで変化に富んだ林相をしています。また、管内には小面積の国有林が点在しており、国有林数は十一あります。

当班は、本年度から基幹作業職員三名となりましたが、造林、土木、保全管理等の業務を行っています。

全員が製品事業所採用であり、十年前までは木曾ヒノキの生産に従事し、国有林を支えてきました。主な業務は、除伐・枝打ち、歩道整備、水切設置、林道除草、不陸直し等ですが、この頃は、ヒノキ人工林での熊の皮剥被害が目立ってきたことから熊よけのテープ巻作業も大事な作業となつています。また、境界巡検も多く、急斜地のうえ山足が遠いところを頑張つて不明標の発見や境界標の保全に取り組んでいます。

班員は、チームワークもよく、悪いところがあればお互いに注意しあいながら作業を行つており、無災害が続いています。

す。年齢は皆五十歳を過ぎてしまいましたが、毎日、ラジオ体操後は足取り軽く現場へ向かっていきます。



熊よけテープ巻作業の合間に



平成21年度 森林ふれあい講座

回	実施月日	講座名	会場	募集人数	募集方法
1	4月11日(土) 10:00~12:00	自然の素材を使った観賞炭づくりと炭の効用について学ぼう!	瀬戸市瀬戸国有林 定光寺キャンプ場	30名	先着順
2	5月30日(土) 8:30~18:00	「葦毛湿原の植物観察と普門寺ルート of 森林散策」 ～生物多様性(森林と植物)～	愛知県豊橋市 葦毛湿原	20名	抽選
3	6月13日(土) 18:00~20:00	「暗闇の森林(もり)で幻想的な光の舞を観賞しよう!」 ～生物多様性(森林と昆虫)～	愛知県瀬戸市 ほたるの里	50名	先着順
4	10月3日(土) 10:00~15:00	自然休養林を歩いて森林セラピーを体感しよう!	愛知県犬山市 八曾国有林	50名	先着順
5	10月24日(土) 8:30~16:30	木曾ヒノキの美しい森林(もり)を散策し、「名古屋城本丸御殿」の資材伐採跡地を見学しよう!	岐阜県中津川市 加子母裏木曾国有林	20名	抽選
6	12月12日(土) 10:00~12:00	森林(もり)の恵みを素材に手作りリースに挑戦しよう!	名古屋市熱田区 名古屋事務所	20名	先着順
7	2月6日(土) 10:00~12:00	「野鳥を観察し、生態を学ぼう!」 ～生物多様性(森林と野鳥)～	愛知県瀬戸市 定光寺公園	20名	先着順
8	3月13日(土) 10:00~12:00	森林(もり)の恵み「きのこ」について学び、シイタケの菌打ち体験をしよう!	名古屋市熱田区 名古屋事務所	30名	先着順

実験林・試験地等紹介

亜高山性樹種の本数調節試験



〔南信署・指導普及課〕 本試験は、昭和三十四年に来襲した伊勢湾台風の風倒跡地に天然更新したシラベの過密林分において、本数調節を行うことにより単木生長の促進を図り、伐期短縮の可能性を検討するため、昭和四十五年九月に旧長野局の各署において設定し調査を行ってきているもので、現在では当該試験地のみとなっております。

○試験地の概要

所在地 長野県茅野市
冷山国有林 一二七林班か小班
設定年度 昭和四十五年度
設定時林齢 約二十二年生
樹種 シラベほか
面積 〇・四五ヘクタール
標高 一、九一〇メートル
基岩 両輝石安山岩
土壌 湿性ボドゾル

○試験地の設定と調査方法

試験は設定時に本数密度調節を行い成立本数五〇〇〇本/鈴区、七五〇〇本/鈴区、無処理区(二三〇〇〇本/鈴)の三試験区を設定し、昭和六〇年には本数調整区について伐採率45、50%の調節を

実施し、推移をみてきました。

近年、林分の鬱閉のため生長が少なくなったため、平成二十年にそれぞれ42%（現存一〇〇〇本/鈴）、31%（現存一五〇〇本/鈴）の本数調節を実施しています。一箇所の標準区は〇・一五鈴としています。標準区の立木について胸高直径一メートル単位、樹高は一〇メートル単位に測定し、五年毎に調査を実施しています。

◎試験結果

(H18年の調査結果から)

△胸高直径

胸高直径は五〇〇〇本区で16cm、七五〇〇本区で15cm、対照区で9cmとなっていて、本数密度との相関が大きいと判断されます。対照区では設定時からの枯損低減が大きく亜高山帯シラベ林の特徴が出ています。

△樹高

樹高は五〇〇〇、七五〇〇本区で12m、対照区で9mで、概ね本数密度、胸高直径に相関があると判断されます。

△本数密度

五〇〇〇、七五〇〇本区について検証のため百瀬氏作成の「シラベ間伐曲線」と比較(図一 間伐曲線との対比)では胸高直径16cmに対して適性密度は一三〇〇本/鈴で、密度調整区ではいずれも過密となっております。

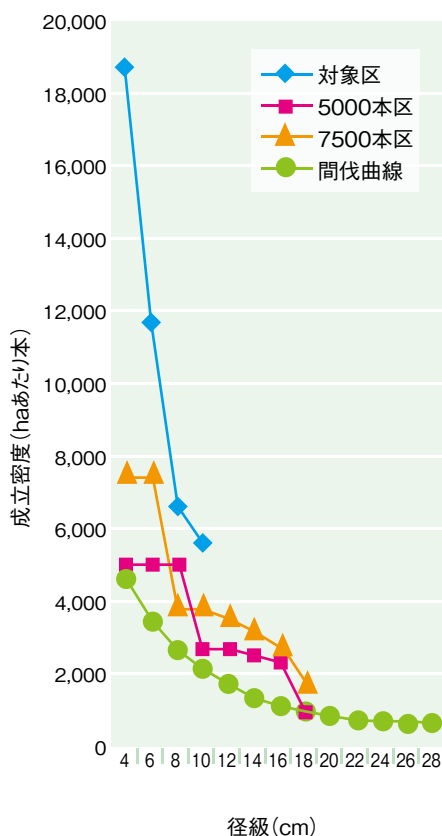
○まとめ

設定以来、三十六年経過した時点で、本数調整の優位性が認められたが、なお過密となつていするため平成二十年に三回目の本数調整を実施しました。今後は設定時の考え方に基つき、五年毎の調査を継続していくこととしていきます。

○報告書は「試験調査報告」平成十八年度

中部森林管理局
六十五頁

図一 間伐曲線(百瀬)との対比



H18年 5000 本区



大日ヶ岳とひるがの高原
 (奥長良川県立自然公園)

〔岐阜署〕大日ヶ岳(二百名山)(標高一、七〇九m)は、白山の南東に位置し、頂上付近は白山国立公園に属しています。

その昔、養老元年(七一七年)、泰澄大師の開山とされ、信仰の山として知られています。頂上には、大日如来が奉られており、方位盤が設置され、眺望は白山主峰と別山が並んで見え、遠くに北アルプス連峰が広がります。

登山ルートとしては、ひるがの高原、ダイナランドスキー場、ウインゲヒルズスキー場の三方向からの登山道があります。岐阜県側から頂上へは約二時間半から三時間半で、登山道標識はありますが途中での水場はありません。ひるがの高原から途中の一ぶく平のブナ林は圧巻です。

山頂に降った雨は、長良川、庄川、九頭竜川の三方向に分かれて流れ出ます。



一ぶく平のブナ林

岐阜県側の山腹には、ダイナランド、高鷲スノーパークのスキー場が広がり、東側には、ひるがの高原があり、夏は避暑地として、秋は紅葉狩り、冬はスキーが楽しめます。また、ミズバショウで知られるようになったこのひるがの高原湿地は、厚い泥炭層が堆積し、長い年月を経てできたものです。泥炭層の中には花粉をはじめ硅藻、種子、植物体など数々含まれ、湿原形成の第一要因には、寒冷な気候ですが、ひるがの湿原形成が可能な南の限界にあります。

雪解けの清らかな水が湿地に集まり水の精の化身ミズバショウが一面を純白の衣装で埋め尽くし、ワタスゲ、コバイケソウ、モウセンゴケ、リュウキンカなど



冬の大日ヶ岳を望む

ど、みずみずしい花たちが次々に湿原の色を変えていきます。

◆アクセス

ダイナランドへは、東海北陸自動車道高鷲ICより7km、約十分。長良川鉄道、美濃白鳥駅より約二〇km。



頂上付近の稜線を進む

行事・会議等の予定

- ◎長野県植樹祭
6月13日 東御市
- ◎名古屋シティ・フォレスト事業
6月19・25日
木曾・東濃署管内
- ◎森林ふれあい講座
6月13日 愛知所管内
- ◎平成二十一年度永年勤続職員表彰式
6月25日 長野市

◇訂正

第61号の6頁3段の「向井剛さん」は、「向山剛さん」に訂正してお詫びいたします。